

“地域活性化”に貢献しよう！

参加メンバー募集中！

- 土木学会コンサルタント委員会・地方創生研究小委員会は、土木・都市・建築分野の技術者を中心に、地方創生の現場で課題解決に取り組む研究・実践組織です。過去 10 年以上にわたり、全国各地のまちづくり事例を調査・発信してきました。
- 今回、多様な視点、立場からの議論を活性化するため、新たなメンバーを募集しております。土木学会員であり、類似する仕事や活動に従事されている方あれば、どなたでも参加できます。

【当小委員会の活動の目的（概要）】

国土交通省が定めた第三次国土形成計画では、「時代の重大な岐路に立つ国土」として、人口減少等の加速による地方の危機や、巨大災害リスクの切迫、気候危機、国際情勢を始めとした直面する課題に対する危機感を共有し、こうした難局を乗り越えるため、総合的かつ長期的な国土づくりを進めていくこととしています。

本小委員会では、インフラ・空間整備だけでなく、様々なアプローチによる地域活性化の成功事例を収集、研究し、今後の各地域の施策に活用できる知見をとりまとめることを目的としています。

【大切にしている 3 つの視点】

- ① インフラ・空間整備を有効に活用している取組
- ② 観光振興・地域ビジネス・雇用促進の取組
- ③ 地域の協働創出の取組

【ご参加のメリット】

- ① 学会活動として最新事例を学べる
- ② 社会課題解決へ実践的に関われる
- ③ 技術者ネットワークを広げられる

【これまでの活動】約 10 年・7 回のシンポジウム実績

詳しくは土木学会コンサルタント委員会の WEB サイトをご覧ください。 <https://committees.jsce.or.jp/kenc/>

回	開催年月	サブテーマ	対象地域・事例	キーワード
第1回	2016年11月	復興トッランナーと呼ばれる女川を動かすリーダー達は何を考え・何を実行したか	宮城県女川町	震災復興・リーダーシップ・まちの再生
第2回	2017年1月	スポーツイベント誘致による地方創生	東京マラソン	スポーツイベント・交流人口・都市活性化
第3回	2018年1月	道の駅を拠点とした地域『連携』と『再生』の取組とその視点	道の駅「保田小学校」・道の駅「とみうら」（千葉県）	廃校リノベーション・道の駅・地域連携・再生
第4回	2019年1月	グリーンスローモビリティと共生再生	群馬県桐生市	歴史的街並み・低速電動バス・モビリティ革新
第5回	2020年9月	潤いのあるまちから潤うまちへ	静岡県三島市	NPO・民間・行政の多主体連携・環境共生
第6回	2023年1月	SDGs未来都市かまくら・旧村上邸・鎌倉みらいラボ	神奈川県鎌倉市	歴史建築ストック活用・SDGs・持続可能性
第7回	2025年2月	スポーツツーリズムと銚子創生	千葉県銚子市	廃校リノベーション・スポーツ合宿・交流人口創出

【ご参加にあたりご留意いただきたい事項】

- この活動は、土木学会員等個人の研究活動です。このため、シンポジウム等の行事費用は委員会で負担しますが、その前提となる委員の研究活動等に要する旅費・交通費などを含めた活動費は、原則として全てご自身で負担していただきます。ただし、ご所属の企業等が活動費を負担することを妨げるものではありません。
- メンバー（小委員会委員）になられた方には、土木学会より委嘱状を発行いたします。必要に応じご所属の企業等にご提出ください。
- 当小委員会委員の任期（活動期間）は、1期2年間ですが、途中から参加することが可能です。また、重任を妨げるものではありませんので、ご本人の希望により継続することが可能です。
- 募集人員数は若干名とさせていただきます。（現在の委員数は16名）
- 多数の応募があった場合には当小委員会で選考させていただきます。選考結果によりご希望に沿えない場合がありますことをあらかじめご了承ください。
- 応募締め切り：令和8年11月30日（月）

【ご参加を希望される方】

応募先に以下の事項を添えてお申し込みください。

- ①氏名
- ②所属
- ③連絡先メールアドレス
- ④応募の理由、参加にあたり希望することなど

【応募先・問い合わせ先】 土木学会 コンサルタント委員会 地方創生研究小委員会

担当：工藤（小委員会委員長／(株)オリエンタルコンサルタンツ kudoh-mk@oriconsul.com）

以 上